



理想まで、最速で。

RECRUITING
GUIDE
2025

税理士法人 山田&パートナーズ

理想まで、最速で。

お客様から信頼されるパートナーになりたい。
国内にとどまらず、世界で活躍したい。
子育てをしながら、仕事にも全力で励みたい。
熱意さえあれば、ここではどんな理想も、遠い夢ではない。

総合型税理士法人ならではの幅広いフィールド。
専門力だけでなく人間力まで育てあげる教育。
一人ひとりの活躍をサポートする制度。
成長したい気持ちに応えられる環境が、
山田&パートナーズにはあります。

だから、全速力で駆けのぼってほしい。
つまずいたときは、立ち上がれるように手を差し伸べる。
最速で到達しよう。あなたが思い描く理想まで。

CONTENTS

- 01 MESSAGE
リクルートメッセージ
- 03 TALK SESSION
統括代表社員と若手社員の対談
- 07 BUSINESS FIELDS
業務内容
- 11 VOICE FROM MEMBERS
 - #01 海外勤務メンバー
 - #02 働く女性
 - #03 キャリアメンバー
- 19 TRAININGS
研修制度とキャリアプラン
- 21 NETWORKS
 - グループ間・部門間ネットワーク
 - 海外・国内拠点ネットワーク
 - 社員同士のコミュニケーション
- 27 WELL-BEING
働きやすさを支える制度
- BUSINESS IMPROVEMENT
業務改善の取り組み
- 28 MESSAGE FROM FIRM
山田&パートナーズからのメッセージ
- 29 GUIDELINE
募集要項
- PROFILE
法人概要



CROSS TALK

Representative Shigehisa Miyake,
the young member,
and the new member had a talk session.

これから育つ君たちに いま伝えておきたいこと

To you, going to buildup the career
with our ground.

山田&パートナーズが大切にしていることは?
今後の税理士に求められることは?
新人と若手社員の様々な質問に、三宅統括代表社員が答えました。

統括代表社員 税理士 三宅 茂久	×	ビジネス コンサルティング部 2018年入社 磯貝 真紀	×	大阪事務所 シニアマネージャー 税理士 2015年入社 横山 勝彦
------------------------	---	---------------------------------------	---	---

健全な価値観を持った 専門家であってほしい。

横山 山田&パートナーズに入社して10年が経ちますが、社員が基本理念を非常に大切にしていると感じています。この機会に改めて、3つの基本理念に込められた意味を教えてくださいませんか。

三宅 2人もよく知っているように、山田&パートナーズの基本理念は、「健全な価値観」「社会貢献」「個と組織の成長」の3つです。まず「健全な価値観」ですが、私たちの仕事はアドバイスしたことがお客様の行動に直結してしまう仕事です。ですから、法令を遵守した健全な価値観が欠かせません。アドバイスが真っ当でないと、法令違反につながりかねませんからね。社内でも不祥事が起きないように襟を正し、会社をクリーンに保ち続ける必要があります。2つ目の「社会貢献」は、お客様あるいは社会に付加価値を提供していくということ。付加価値というのは、お客様に適切な、もしくは想定を超える情報を迅速に提供することを意味します。付加価値をしっかりと提供するのが私たちの社会貢献です。3つ目の「個と組織の成長」は、個人の成長と組織の成長は連鎖して高め合う関係が必要ということ。個人が成長しようと努力していても、組織が停滞しているとしたら良い職場とは言えないですね。両輪が回ることが大切なのです。

横山 3つの理念の中でも「健全な価値観」は、現場でもよく使われています。「これ健全な価値観的にどう思う?」といった具合に。

三宅 理念の中でも、最も上位概念にあるのが「健全な価値観」なので、現場に浸透しているというのは素直に嬉しいですね。

磯貝 なぜこれほど理念が浸透しているのでしょうか?

三宅 入社の際に、なぜ基本理念があるのか、山田&パートナーズの基本理念はどういう意味なのかについて、時間をかけて新入社員に伝えていきます。そして入社してからは、毎週月曜日の朝礼で基本理念の唱和を行い、徐々に理解が深まるようにしています。

横山 部門ごとのミーティングでは、行動指針である「心と行動の規範・基軸」の



統括代表社員
税理士
三宅 茂久
SHIGEHISA MIYAKE

1989年、公認会計士・税理士山田淳一郎事務所(現・税理士法人山田&パートナーズ)入社。同年、税理士試験合格。1997年から2年半、米国会計事務所に出向し米国税務の実務経験を積む。帰国後、医療事業部長、国際部長を経て、2002年に代表社員、翌年に副統括代表社員に就任。2008年より現職。

付加価値の提供こそが、私たちの仕事。

読み合わせを行っています。それも理念浸透の一環なのでしょうか？

三宅 その通りです。行動指針は基本理念を基につくられたものなので、行動指針の読み合わせも理念浸透の一助になっていると思います。横山くんは行動指針の中で、普段から心掛けているものはありますか？

横山 「我々は資格を持った専門職ではあるけれどサービス業なので、上から目線になってはいけません。」というのは肝に銘じています。磯貝さんはどう？

磯貝 「今の君が10年後の君だ。それ以上はない。」という言葉が心に刺さりました。今、明確に目標を決めて努力し続けられない限り、10年後に成長した自分になかなかない。これを読んで意識が高まりました。

三宅 2人とも大変良い心掛けですね。

国際、医療、ITコンサルが これからの柱。

横山 山田&パートナーズの強みは、年間4,000件近くに上る相続・事業承継の業務や、複雑かつ大型の案件を多数扱っているところだと思います。その他にこれから強化していきたい分野はありますか？

三宅 国際業務と医療分野の業務、そしてITコンサル。この3つを強化していきたいと考えています。まず国際業務は、世の中のニーズに対して会計業界の対応力が不足していると感じています。会計税務の専門力と英語力

を両立した人材を育て、対応力を強化するのが今後の目標です。次に医療分野ですが、外部へのアピールを今後拡大強化します。社内で医療分野に従事しているメンバーは、専属対応メンバーが約30名、兼務で対応しているメンバーが40名ほどいます。これだけの人数で医療対応している総合型の税理士法人は、私の知る限りほとんどありません。今後外部へのアピールを増やせば、さらに案件の受注につながり拡大成長できると考えています。最後にITコンサルですが、財務・会計・税務への対応にITを活用することが、業界全体で加速しています。社内でもITによる業務の効率化やクラウドによるノウハウのアーカイブ化などを進めています。そして同時に、お客様の経理や財務の現場

を改善していくITコンサルに注力していきます。現在は、社内にITチームを作り力を入れて対応しています。

横山 国際業務に関して言えば、私の周りでも社内制度などを利用して英語を勉強するメンバーが増えています。20年、30年先を考えると国際業務に対応できないと仕事なくなるのではないかと危機感を覚えています。

三宅 会計業界の国際対応の人材はニーズに対して本当に不足しています。挑戦した先には、大きなチャンスが広がっていると思いますよ。

お客様の本質をつかむ力が、 税理士に今後、必要な力。

横山 ITコンサルの話に関係すると思いますが、オックスフォード大学の准教授が発表した論文の中で、税理士や公認会計士の仕事AIにより代替される可能性が高いと結論づけられています。三宅さんはAIの存在を脅威だと思われませんか？



ビジネスコンサルティング部
磯貝 真紀
MAKI ISOGAI

大学時代に会計のゼミに所属し簿記を学んだことをきっかけに、専門的な知識を活かして働ける仕事に興味を持つ。2018年に新卒採用で山田&パートナーズに入社。現在はアカウントティング職として会計・税務・コンサルティング業務に携わっている。

三宅 全く思わないですし、むしろ歓迎しています。基本理念にもあるように、私たちの仕事は、お客様に付加価値を提供することです。ですので、単純作業は機械に行ってもらった方がむしろありがたいと思っています。お客様のためにコンサルティングを行うなど、AIの普及によって付加価値を生む仕事に専念できるようになります。

磯貝 つまり、これからの税理士には付加価値を生む力が不可欠だということですね。

三宅 そうですね。しっかり学び、考え、お客様の気持ちを汲み取った上で、何を自分たちが提供できるのか、何がお客様にとってベストなのかを追究して提供できる。私たちに求められるのはそうした力だと思います。一言でいえば、お客様の本質をつかむ力ですね。言葉にすると簡単ですが、難易度は非常に高いと思います。これは感性の問題になってきますから。

磯貝 そうした感性を養うにはどうしたら良いのでしょうか？

三宅 人付き合いにしろ、仕事にしろ、遊びにしろ、幅広く経験することが大事だと思います。山田&パートナーズには、オンオフの切り替えをして、仕事も遊びも楽しむという風土がありますよね？勉強も大事ですが、オフの時間に上司や同僚と仲を深めたり、人脈を広げたりする中で、自然と養うことができます。

横山 三宅さんご自身は、そうした感性がついたと実感できたタイミングはいつでしたか？

三宅 10年くらい経験を積んだあたりでしょうか。フロントに立って、どんな質問がきても大丈夫だ、と自信を持ってお客様対応や外訪ができるようになり、相続・事業承継、法人、それからM&A、医療、国際に至るまで、どんな案件を受けても入口の対応ができると思えたのが10年経った頃でした。そうなる色々ことに自信を持って対応できるようになる。でもきっとそれは自信過剰なのだと思います。でも、それでいいのです。伸び盛りの頃はそれも必要だと私は思います。

磯貝 若手のメンバーに、今後こういう風に成長してほしいという希望はありますか？

三宅 最初の2、3年は基礎力をつける期間ですので、しっかり勉強して力をつけることが大切です。次のステップは得意分野を1つつくこと。横山くんはこの段階ですね。経験5年で得意分野があると、自信を持てるようになります。10年スパンでみると、得意



大阪事務所
シニアマネージャー 税理士

横山 勝彦
KATSUHIKO YOKOYAMA

地元密着型の税理士事務所2年間の修行を積んだ後、専門力の高さ、そして業務の幅広さに裏打ちされた成長スピードの速さに惹かれ、2015年に山田&パートナーズの大坂事務所に転職。部門間交流制度を利用して東京本部のソリューション事業部での勤務経験あり。2020年高松事務所長を経て、2024年1月から現職。

分野の柱をもう1本増やした方がよいでしょう。例えば、相続の仕事と法人の仕事が自分の得意分野だというのならその2つでもいいですし、とにかく得意分野の柱を2本つくるのが大切です。それとも1つ。人間と機械の話に戻りますが、私たちの仕事は人間だからこそできる業務に期待が移っていくと思います。お客様が抱える課題の本質をつかみ、迅速に的確なアドバイスと対応ができるというのが、専門家に期待されることです。

横山 そのためには、色々な経験が必要だということですよね？

三宅 そうですね。お勤めしたいのは社外の人も積極的に交流すること。同業他社の人でも、あるいは他業界の人でも構いません。とにかく幅広い分野の人と付き合い、自分の考えに多様性が生まれます。また、培った人脈は仕事でも活きます。例えば、自分のリソースだけで対応できない案件も、人脈を活用すれば解決できることが多々あります。社内の付き合いにとどまらず、色々な人と付き合い、楽しいビジネス人生を過ごしてほしいですね。

山田&パートナーズが
大切にしている
3つの基本理念
PHILOSOPHY

01

健全な価値観

私たちは、信頼される人間集団として、健全な価値観を共有します。

02

社会貢献

私たちは、高付加価値情報を創造・提供し、顧客と社会の発展に貢献します。

03

個と組織の成長

私たちは、個と組織の成長と調和を目指し、高い目標を掲げる個を尊重します。

総合力を育む 幅広い業務フィールド。

Provide wide range of business fields
to build comprehensive capabilities.



2060年には総人口の約40%が高齢者になる社会が到来すると言われるなか、税理士に大きな期待が寄せられている分野が資産税業務です。

資産税とは、相続税や贈与税などの財産に関わる様々な税金を総称する呼び方。資産税に関わる業務では、税法以外にも民法などの幅広い知識が必要であり、顧客に応じたオーダーメイドの提案が常に要求されます。山田&パートナーズは、この資産税分野に40年以上携わっており、実績と蓄積されたノウハウは業界最高峰です。

•資産税コンサルティング

富裕層の方が生前のうちに、相続に対する対策を考えるサポートを行い、その対策の実行を支援します。

•不動産関連コンサルティング

お客様の大切な不動産を守るために、不動産の所得・処分・有効活用に関して総合的にアドバイスし、実行までサポートします。

•相続税申告

相続が発生したお客様に対して、単に申告書を作成するだけでなく、財産の調査から二次相続を踏まえた遺産分割方法、納税方法の検討までトータルにサポートします。

•親族・株主間譲渡コンサルティング

親族間や株主間において不動産や非上場株式の譲渡が円滑に行えるように、税務アドバイスや交渉サポートなどに取り組みます。

•所得税申告

資産を譲渡して利益が出た場合に発生する所得税の申告作業に関して、豊富な経験とノウハウを活かしてお手伝いします。

•信託活用コンサルティング

信託法の改正以降、民事信託などを活用してお客様の想いを実現できる機会が増えました。オーダーメイドの信託スキームの提案、実行の支援を行います。



法人対応業務には、通常の顧問業務のほか、企業が成長戦略上で行う組織再編やM&Aのサポート業務があります。

合併や会社分割・持株会社化といった組織再編を行う場合にはストラクチャーの立案・構築から実行までをトータルでサポート。M&Aを選択する場合には、グループ会社との連携により、一連のアドバイザー業務のほか、デューデリジェンスなどの業務も含めて総合的にサポートします。山田&パートナーズは、企業の発展のための最も身近な存在としてアドバイザーの役割を担っています。

•事業承継コンサルティング

企業が発展し、存続し続けるために「会社のため」「社会のため」「後継者のため」に最適な事業承継方法を提案し、実行を支援します。

•税務顧問

中堅企業から大企業まで単に月次決算、税務申告のみならず、お客様の経営戦略を解決するためのアドバイザーサービスも提供します。

•M&Aコンサルティング

M&Aの売り手サイド・買い手サイドの立場から、税務・財務・法務の知識を駆使してトータルにアドバイスサポートします。

•資本政策コンサルティング

会社の規模や戦略、成長のステージ、ニーズに応じた資本政策を立案し、トータルでサポート。立案から実行まで一括で請け負い、スムーズな実行を支援します。

•企業組織再編コンサルティング

効率的な組織体制を構築するうえでお客様にとって最良の選択を提案。きめ細やかなアドバイスで、組織再編の成功をサポートします。

•電子帳簿保存法対応コンサルティング

税務・システム面の専門家が各視点を交えてアドバイス。書類の電子化に留まらず、税務上のリスクやシステム面の課題を考慮しながら役務を提供します。

山田&パートナーズでは、“この部門はこの仕事だけ”という縛りを設けていません。顧問先企業のあらゆるニーズに応えられる能力を身につけてもらいたいという想いからです。

各部門で多種多様な業務に携わることができるので、税務・会計・財務など多面的な観点から総合的なスキルを養えます。

経験を積むなかで「この分野を極めたい」という想いが芽生えた場合も、さらに専門性を磨ける環境です。



近年のグローバル化に対応するため、山田&パートナーズでは、複数の海外拠点を設置し、幅広い国際税務の業務を提供しています。法人向けサービスとしては、海外進出のサポートやクロスボーダーにまつわる税務アドバイスなどを行い、個人向けサービスとしては、国内外への財産の移転に伴う税務アドバイスや国際相続に伴うサポートを行っています。山田&パートナーズには、国際税務に意欲がある方にとって、幅広く業務を経験するチャンスがあります。

•海外進出・撤退サポート

海外展開の成功などを旨とし、事業構想の立案から管理体制の構築までサポート。また、海外子会社などを清算・撤退する場合も支援します。

•国際相続

相続人が非居住者である場合、または財産が海外にある場合において、海外拠点などと連携を取りながら複雑な相続手続きをサポートします。

•クロスボーダーM&Aコンサルティング

海外における事業の拡大・縮小を実行するための選択肢であるM&A。海外戦略の検討・実行にあたり、M&Aの面からお客様を支援します。

•グローバルタックスマネジメント

国際的に経済活動を行う企業グループの税引後キャッシュフローの最大化を支援します。

•移転価格コンサルティング

移転価格税制や寄附金課税のリスクに応じ、移転価格文書化の支援や税務当局への説明資料の作成、関係者間取引に関する規定の整備を行います。

•非居住者の税務相談・所得税申告

日本と外国を行き来する日本人や外国人の税務相談や所得税申告について租税条約や相手国の税法を確認しながらサポートします。



人生100年時代と言われる今、医療機関や介護福祉施設の社会における重要度は今後ますます増していくと予想されます。

山田&パートナーズは、医療機関・介護福祉施設の地域医療を支える社会的公器であるという使命をしっかりと受け止め、地域に存続し続けるためのコンサルティングに力を注いでいます。また様々な分野のプロフェッショナルを社内に抱える強みを活かし、シンクタンク業務や出版業務などの幅広い取り組みも行っています。

•医療機関・介護福祉コンサルティング

税務・会計面でのサポートはもちろんのこと、医療法や行政指導などの幅広い観点から、経営に対して適切なアドバイスを提供しています。

•税のシンクタンク業務

税全般に関する調査や分析をまとめた報告書の作成や税制に関する質の高い情報など、税のシンクタンクとして情報提供を行います。

•公益法人設立コンサルティング

公益法人を設立するうえでの事業計画の策定や申請業務などを支援することで、お客様の社会貢献に対する思いの実現に寄与します。

•出版・セミナー業務

培った専門性を生かし、様々な業界のお客様向けに講演などを開催。複雑な税務の内容を分かりやすく解説した書籍も出版しています。

•税務コンプライアンス業務

税務意見書作成などの事前サポートや税務当局への不服申し立てサポートなど、税に関するトラブルの防止・解決をサポートします。

•ITコンサルティング

バックオフィス改善のために、クラウド会計による経理業務の自動化支援やITインフラ構築によるリモートワーク支援などの業務改善コンサルティングも行っています。

何より大切な仕事は、信頼関係を築くこと。

資産税業務として、主に相続や事業承継に関するご提案や申告を行っています。相続税申告は、大切なご家族を亡くした方を相手にする仕事なので、特に気遣いが必要です。相続人は不安でいっぱいのもので、信頼関係を築き安心していただくことが大切だと思っています。無事申告が終わり、お客様から「先生に頼んで本当に良かった」と言ってくれれば、人の役に立てる仕事ができる幸せを実感します。私は、信頼関係を築くための第一歩はコミュニケーションであると考えており、そのためには、まずお客様の話をしっかりと聞くようにしています。それに加え、専門的な内容をわかりやすく、お客様の理解のスピードに合わせて説明するスキルも重要です。

資産税業務における主なお客様は、富裕層の方や企業オーナーです。会話は経済、国際情勢、歴史、美術など多岐にわたりますので、私自身も日頃から色々なことに興味を持つようになっています。また、時に数十億円、数百億円の財産に関するご相談を受けることがあり、お客様の様々な資産承継に関するニーズに応えるため、信託や公益法人などをご提案することもあります。最近では国際相続のご相談も増えており、業務の幅を広げるために日々の自己研鑽は必須ですね。責任の重い仕事ですが、やりがいがあります。今後は、お客様にとって、税金だけでなく周辺分野までも含めて最適な解決策を提案できる頼れる相談相手になっていきたいです。



パートナー 税理士
壽藤 里絵 RIE JUTO | コンサルティング事業部

大学卒業後、電子部品メーカーでの営業を経験した後、資産税に興味を持ち山田&パートナーズへ。現在は後輩の育成に力を注ぐとともに、パートナーとして経営にも携わる。



世界に触れると、自分の世界も広がっていく。

私の仕事は、国際間取引で生じる税務問題への対応です。外国子会社を持つ法人などの顧問業務や、日本と外国を行き来している日本人や外国人の税務相談・所得税申告を行っています。国際業務といっても、日本の法人税や所得税、相続税、消費税についての検討をしますが、相手国との租税条約や外国の税務上の取扱いなども同時に確認することが多いです。国際間取引に関する税務問題に対応するためには、日本の税法だけでなく、二国間で結ばれた約束事である租税条約や、外国の税法などの確認も必要になります。日本だけに限らず様々な国の取決め、考え方、事象に常に触れることができるので、知的好奇心が満たされ、やりがいの1つになっています。

やりがいを感じる一方で、国際間取引は新しい形態や複雑な内容のものも多く、難しい仕事だと感じます。例えば、移転価格税制に関する案件では、日本で検討した価額が相手国では時価と容認されないなど、日本において望ましいスキームが相手国では問題になるといったケースも起きます。お客様にとって最良の答えは何か。答えにたどり着く難しさがあります。今後は、世界で活躍するお客様と対等に話せるコミュニケーション力を身につけ、英語力も磨き、行動範囲をもっと海外に広げたいです。

パートナー 税理士
山田 順子 JUNKO YAMADA | 国際部

専門知識を必要とする仕事に就きたいという想いから税理士へ。国際業務を軸としながら、お客様が抱える課題に親身に寄り添える税理士になることが目標。

各フィールドで活躍するプロフェッショナルたちの仕事

司令塔を担う責任とやりがい。

法人対応業務としては、企業グループ内の組織再編などのアドバイザー業務やM&A関連のデューデリジェンス業務、企業価値算定業務などのスポット業務をはじめ、上場企業や中堅企業の税務会計顧問業務を行っています。その中で資産税業務や国際業務にも携わることもあります。組織再編業務では、税理士として税務・会計分野の役割を担うだけでなく、アドバイザー業務として司令塔の役割を担うことが求められます。入社3年目の時に、三宅代表と取り組んだ上場会社のホールディングス化の案件は、まさにそれを体感した案件でした。当初は、組織再編における税務アドバイスが中心業務にと思っていたのですが、実際はスキームの検討からスケジュールの

進捗管理まで幅広く、さらにクライアントのプロジェクト担当者や各種士業、金融機関、証券取引所など、各方面の調整役も我々の仕事でした。調整の難しさや司令塔ゆえの重圧に苦しみましたが、案件の中心に立つことに非常にやりがいを感じました。今では、自分で受注し、司令塔を務める案件が増えています。時には担当案件が日本経済新聞の記事になることも。地域経済に貢献できるようになってきたのかなと嬉しく思う瞬間です。山田&パートナーズの基本理念に「個と組織の成長」が掲げられているように、個人の成長が組織を成長させるのだと私も思います。私自身が新たな領域に挑戦していくことで、組織を一回りも二回りも大きくしていきたいです。



パートナー 税理士
中橋 知治 TOMOHARU NAKAHASHI | 名古屋事務所

入社当初から、未経験業務に積極的にチャレンジし経験を積む。法人対応業務を中心に、資産税業務から国際業務まで幅広く手掛けている。



難解な課題に、期待を超えた解を。

病院やクリニックを運営している医療法人や個人開業医、介護施設を運営する社会福祉法人の経営をサポートするのが私の仕事です。具体的には、定期的にお客様を訪問して行う財務数値の報告や経営課題についてのディスカッション。決算書作成と税務申告を行う税務顧問業務。医療経営を次世代または第三者へ引き継ぐための医業承継・M&A業務。グループ内の運営を効率化する組織再編業務。これらがメイン業務となります。医療機関は地域医療を支える重要なインフラです。しかし、医療業界の経営環境は明るいとはいえず、経営者の抱えている課題は千差万別。一筋縄ではいきません。そのため、案件の際は、関係者それぞれの思いを汲み取り、ニーズはどこに

あるかを的確に把握することを心掛けています。ある病院の事業承継の案件では、理事長と後継者との間で経営に関する考えが対立していましたが、当事者のお二方のみならず、ご家族などの関係者とも幾度となく対話を重ねてニーズを探ることで、無事に案件をクロージングすることができました。困難な案件が多いですが、どの仕事にも共通して言えるのは、お客様が私たちに大きな期待を掛けて下さっているということ。お客様の期待を上回るために、案件は複数名で対応しています。複数で検討することで、議論と確認をしながら進めることができ、効率も良くなるからです。チーム一丸となって取り組み、これからもお客様の期待を超え続けていきたいですね。

パートナー 税理士
板持 英俊 HIDETOSHI ITAMOCHI | 医療事業部

数多くの医療法人や社会福祉法人のクライアントを抱え、経営をサポートする医療分野のプロフェッショナル。チームのメンバーや後輩の成長の一助になることが仕事のモットー。



TAKASHI OI

前へ進め。 見えない答えを見つけるまで。

Move forward to find the answers you seek.

世界に挑戦するメンバーも多い山田&パートナーズ。
彼らはなぜ世界に挑戦し、何を経験しているのか。
海外で活躍するメンバーたちに話を聞きました。

文化の壁を越え、 相互理解のもとビジネスを。

税理士として心がけているのは「常にお客様目線で一緒にビジネスを考えられる専門家でありたい」ということです。我々は税会計に関しては専門家ですが、それだけにとらわれていると、ビジネスにおいて持つべき視野が狭くなってしまいます。ですから、お客様と同じ目線でビジネスを考えながら、税理士として、専門分野でのサポートで真価を発揮できるように心がけています。

上海事務所の業務は多岐にわたります。日系企業の中国子会社に向けた会計サービスや税務申告などの顧問業務はもちろん、日系企業の中国進出支援や撤退支援、日中間でのM&Aコンサルティング、中国における企業組織再編、移転価格コンサルティング、不正調査業務、さらには香港・台湾を含む国際相続まで。こうした幅広い分野での知見が求められる業務では、事務所が総力をあげて取り組むことになります。生まれ育った環境も文化的背景も異なるメンバーと協力して仕事をするためには、相互理解が大切です。中国人スタッフに対しては、休みや残業など、中国の文化に応じた働き方をしてもらっていますが、一方、お客様の大半は日系企業なので、日本ならではの丁寧な対応を心がけています。日本と中国という文化の壁を越えて、双方のより良いところを取り入れた事務所を目指しています。

個の力を組織として生かせる 山田&パートナーズ。

あるM&A案件でのことですが、買収対象となる企業グループがアジア各国に子会社を持っていたため、デューデリジェンス(調査)業務を同時に行う必要が

あり、山田グループの各海外拠点が連携して、それらすべての国の調査に対応することができました。日々、お客様から寄せられるご相談は実に様々です。個人の知識や経験だけでは、そのすべてに対応することは困難ですが、それぞれの専門性を持った「個」が集まり、「組織」として対応することで、お客様のニーズに応えられる幅が広がります。そして、それこそが山田&パートナーズの強みだと思えます。

特にビジネス展開のスピードが速い中国において、日系企業が勝ち抜いていくために必要とされる要素は多様化しています。上海事務所は、お客様のニーズにワンストップで対応できる専門家集団を目指しています。そのためには必要となるのは、何事にも前向きに取り組む姿勢です。お客様のニーズが多様化している現在、初めて携わるような案件も少なくありません。たとえ答えが見えないような課題でも、お客様と共に課題解決へ向けて取り組んでいきたいですし、それができる方と一緒に仕事がしたいですね。



上海事務所 総経理
税理士

大井 高志
TAKASHI OI

学生時代に税理士資格を取得。新卒で山田&パートナーズに入社し、大阪事務所へ配属。大手金融会社への出向や上海での語学留学、実務研修などを経験し、入社4年後の2017年には上海事務所の副総経理に就任。現在は総経理として、言語も文化も異なる上海のスタッフたちを束ねている。

若手リーダーが語る。 入社から未来へのキャリアパス。

上海事務所で総経理を務めるメンバーが
辿ってきた道のりを紹介します。
海外勤務、それはあなたにとっても
遠い話ではありません。

大阪出身です。
税理士試験合格後に、就職活動を
スタート。高校時代に学んだ「簿記」
が面白かったことが、税理士を目指す
きっかけになりました。



2013年1月

山田&パートナーズ入社

仕事内容と社風に惹かれ、 山田&パートナーズへ。

いくつか会計事務所の面接を受けましたが、
先に入社していた学生時代の先輩から聞
いた仕事内容や社風に惹かれ、Y&Pへの
入社を決めました。
同期入社仲間たちとは、帰国時にはよく
飲みに行きます。



～2013年

学生時代

学生時代はスポーツに打ち
込んでいました。中学・高校
は卓球部、ほかに水泳や少林
寺拳法もやっていました。

2013年～ 新人時代

妥協せず、お客さまにとってのベスト
を追求する先輩ばかりだったことが
印象に残っています。
会社にとって冒険ともいえる案件
を任されたこともありましたが、色々
な方の意見を伺いながら、やり遂げる
ことができました。



2015年4月～2016年1月

大手金融機関への出向

「こんな若手にもチャンスを与えるんだ」
と嬉しい反面、不安もありました。社風
も社員の顔ぶれもまったく異なる環境
で働いたことで、自分の仕事の幅が
広がったと思います。

Moved to Shanghai



2016年2月～2016年8月

上海赴任と語学留学

憧れの海外赴任へ向け、 中国語を勉強。

上海事務所への赴任が決まってから
社内の研修制度を利用して学習を進め、
赴任後は業務のかたわら現地の上海交通
大学でさらに本格的にレッスン。ビジネス
中国語を学ぶクラスでは、語学だけでなく
商習慣も学べて良い経験となりました。



税理士

五味 拓也 ■ シンガポール事務所
TAKUYA GOMI

「国際分野で経験を積みたい」と思ったのが、海外勤務を志望した理由です。シンガポール勤務の前は日本の税制を中心とした仕事をしており、海外の税制や日本と海外が絡む仕事ができるのか不安でしたが、語学研修や勉強会、上司からアドバイスをもらえる機会が多く、スムーズに実務を始められました。シンガポール勤務では当国のみならず、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイに関する仕事も多く、ASEAN各国の税制を知ることができました。日々勉強の毎日ですがこれからこの経験を活かして、お客様のご要望に応えていきたいです。

2016年9月～2017年7月

上海海之信会計事務所 にて実務研修

上海では、日本よりもスピードや効率を
重視するという印象を持ちました。
ビジネスで使う中国語が大学で学んだ
中国語とあまりに違い、最初は戸惑い
ましたが、実務の中で徐々にビジネス
中国語を身につけていきました。



2017年7月～

上海事務所 副総経理

赴任当初の人員は少なく、「まだこれ
から」という感じてしたが、徐々にメン
バーが増え、事務所が大きくなって
いく中で、チーム作りの楽しさを覚え
ました。



2019年1月～

上海事務所 総経理

文化が異なるメンバーとの 仕事だからこそその達成感。

言葉や習慣など文化的背景が異なるメン
バーをまとめるのは容易ではありません。
だからこそ、そんなメンバーたちと案件をやり
遂げたときの達成感は、日本での達成感
に勝ります。
最近では中国のビジネスニュースやデイ
リーニュースを見るなど、さらに見識を高め、
世界を広げようという心がけています。



シニアマネージャー
税理士

植地 麻里奈 ■ 上海事務所 副総経理
MARINA UECHI

「色々な場所で、色々な人とたくさんの経験を積んだ方がいい。」そんな考えを持つ上司に背中を押してもらい、憧れだった海外勤務を決めました。上海勤務の前に通った語学研修では、様々な国の方々と一緒に学ぶことができ、視野が広がりました。現在は赴任先で、日本企業の中国子会社に対するサポート全般を行っています。日本では不自由なことであったことが上手くできず、もどかしいことも多いです。日本のお客様も同じような悩みを抱えていると思うので、中国の慣習や文化を理解し、お客様に親身なサポートを提供していきたいです。

Challenge
the world

Support
system

海外へのチャレンジ を支援する制度

任期付き海外赴任制度・ 海外交流制度

より多くのメンバーが海外勤務を経験することが
できる環境をつくるため、海外勤務の期間を2年
間と明確にすることにより海外を目指すメンバー
のキャリアプランを描きやすくする「任期付き
海外赴任制度」を設けています。また、1～3ヶ月
の海外事務所勤務を通じてメンバーの視野を
広げ、国内と海外のコミュニケーションを深める
「海外交流制度」も実施しています。

TOEIC®受験制度

国際業務の拡大を図るうえで必要となる社員一人
ひとりの英語力の底上げと向上のために、TOEIC®
受験を推奨しています。主な対象は、20～30代で
税理士試験などの受験が終了している専門職。
もちろん受験が終了していない、または40代以上
及びアカウンティング職や総合職のメンバーで
あっても、希望すれば受験可能です。

TOEIC®対策講座

TOEIC®受験をサポートする講座を社内で開催。
講師を招いて全5回の対策講座を実施します。
各自の目標に合わせて学べるように、2つのコース
を用意。レベルに合わせたコースを受講でき、
スコアアップを目指しています。

海外語学研修

海外転勤及びトレーニー制度で現地に赴任する
メンバーを中心に、英語や中国語の海外語学
研修制度を設けています。赴任先の国もしくは
他の国の大学や語学学校で、2週間、または
3ヶ月～半年間の集中語学研修を行います。

トレーニー制度

海外の会計事務所に1～2年の期間で実務研修
を行うトレーニーを派遣しています。アメリカ・
ロサンゼルス、中国・上海、ベトナム・ハノイといった
エリアへの派遣実績があります。

NEXT LEADERS >>

成長し続けてもらうために、働きやすい環境を。

Cultivate pleasant work environment for all members.

ここ数年、女性メンバーが急増している山田&パートナーズ。これは働きやすい環境づくりの成果の表れと言えるかもしれません。充実した制度と、フォローし合う組織風土を紹介します。

法人・資産税第1部
パートナー
税理士

宇佐美 敦子



長く継続したキャリアを女性にも築いてほしい。

山田&パートナーズでは、それぞれのメンバーが安心して長く働ける職場づくりに取り組んでいます。なかでも、女性は結婚・出産など様々なライフイベントを迎える際に、働き方の変更を余儀なくされることがあります。ここでキャリアが途絶えるのは、本人にとっても、組織にとっても大変な損失です。女性にも、

長く継続したキャリアを築いてほしい。その想いで様々な制度を設けています。その1つである育児短時間勤務制度は、一般的には小学校入学前までのお子様がいる場合に適用される制度ですが、山田&パートナーズでは小学校6年生まで適用を受けることができます。また、育児や通院などのやむを得ない事情がある場合に、就業時間を2時間以内でずらせる「勤務時間帯変更制度(思いやり規程)」という制度を設け、柔軟に勤務できる体制も整えています。各制度の利用については、「お互い様」の精神で、周囲も協力、理解するように求めており、例えば育児休業

は、男性メンバーにも取得を促しています。実際に育児休業を取ったメンバーからは、「育児の大変さと大切さが分かり、女性メンバーの頑張りが理解できた」といった声が聞こえてきていますね。その他にも「出産のタイミングでは働き方をスローダウンしてまた将来バリバリ働きたい」といったケースに配慮し、職責変更にも対応しています。もちろん、ご自身の目標に向かって、どんどんキャリアアップを目指すことも大歓迎。山田&パートナーズは、男女問わず活躍できる環境ですので、是非ご自身が目指す税理士像をここで叶えてほしいと思います。

— 妊娠・出産・育児に関する休暇・休業制度 —

産前産後休暇	産前6週間、産後8週間まで、出産のための休暇を取得できる制度です。
育児休業	子どもが1歳に達する前日まで育児休業を取得できる制度です。 ※保育園に入園できないなどの理由がある場合は2歳に達する前日まで延長可能です。
子の看護休暇	小学校就学前の子どもについて、負傷または疾病にかかった子どもを世話するために年次有給休暇とは別に1人につき年5日、子ども2人以上の場合は10日まで休暇を取得できる制度です。
出産特別休暇制度	本人または配偶者に子どもが産まれたときは、原則として子どもが産まれてから3ヶ月以内に男性女性ともに3日間連続での休暇を取得できる制度です。なお、女性社員は職場復帰後3ヶ月以内の取得となります。

— 多様な働き方をサポートするその他諸制度 —

育児短時間勤務制度	子どもの小学校卒業(12歳)まで所定労働時間を短縮できる制度です。勤務日を週3~4日に変更することも可能です。
家族支援等特別勤務時間制度	育児・介護以外の家族を中心とした事情により所定労働時間を短縮できる制度です。勤務日を週3~4日に変更することも可能です。
時間外労働の免除・制限	満3歳に満たない子どもを養育する従業員は、時間外労働が免除になる制度です。また小学校に入学前までの子どもを養育する従業員は、時間外労働を一定時間内に制限することが可能です。
勤務時間帯変更制度(思いやり規程)	出産・育児・介護・通院などの事情のあるメンバーは、1日2時間以内において、始業時刻の変更が可能です。
長期傷病休暇制度	年次有給休暇を取得しきれなかった場合、20日を限度として残日数が翌年度以降に繰り越される制度です。繰り越された有給休暇は、傷病によって長期療養の必要が生じた場合に取得できます。
有給休暇の1時間単位の取得	どなたでも1時間単位での有給休暇取得が可能です。

Woman's work life balance

仕事と家庭、両方を追求できる充実した職場環境。

今まで取得した産休・育休の回数は全部で3回。第一子の時には子どもが1歳になるまで、第二子では約8ヶ月間、第三子では約9ヶ月間育児休業を取得しました。山田&パートナーズは産休・育休制度の充実もさることながら、何より上司や同僚が妊娠や子育てに理解を示してくれます。例えば、妊娠初期の頃、体調が悪く、どうしても出勤できない日がありました。そんな時、「人の命は何ものにも

代えがたい」と上司が言い切り、身体への負担を考慮して仕事量を調整してくれました。私が子ども3人を育てながら税理士を続けられるのは、この職場環境によるところが大きいと、心から感謝しています。ですから、私も次の世代の女性を応援していきたいですし、両立できるか不安を抱えている女性がいるとしたら、是非山田&パートナーズに入社して、あきらめずに両方を追求してもらいたいです。

ソリューション事業部
パートナー
税理士
田場 万優 MAYU TABA



目指すのは、キャリアが 高みを目指せる事務所。

Here is for reaching your maximum career potential.

同業種、異業種どちらからの転職であっても、
第一線で活躍するメンバーが
山田&パートナーズには多数存在します。
なぜキャリアが成長できるのか。その理由を探りました。

海外事業部
パートナー
税理士

春田 憲重



03
NORISHIGE HARUTA

型にはまらない いい人間が伸びていく。

山田&パートナーズがキャリアでも成長できる事務所
かと問われたら、答えはもちろん「YES」です。山田&
パートナーズでは、会計事務所らしくない発想や思考
が好まれるケースが多々あります。一般の事業会社や
他の会計事務所から転職された方の中には、前職で
培った知識や経験に裏付けられた柔軟かつ広い視野

を活かして、新しいビジネスの立ち上げに携わって
いるメンバーもいます。手を挙げた人にはチャンスが
与えられる組織風土なので、型にはまらない姿勢は
大歓迎ですね。実際、事務所の在籍年数が短くても、
若くして管理職になっているメンバーも大勢います。
言われたことを忠実にこなす力は社会人として当然
ですが、そのうえで自分で考えて行動し、仕事を作り
上げ、最後までまとめることができる人。そして何より
真面目で「いい人間」であれば、キャリアの方でもど
んどん出世できる環境です。「いい人間」と言うと抽象的

すぎて人によって捉え方が異なるかもしれませんが、
山田&パートナーズには、「山田&パートナーズのメン
バーはこうあるべし」という明確な基本理念と人間
教育の役割を備えた独自の規範があります。仕事で
悩んだとき、迷ったとき、常に立ち返る全メンバーの
拠り所です。行動指針や目指す姿が定まっており、
それを基に社員が一丸となれる点は、私がこの事務
所に入社して本当に良かったと自信を持って言える
ところです。技術とともに、人間力も伸ばしていきたい。
そんなマインドの方と一緒に働きたいですね。

CAREER UP STORY

新卒・中途関係なく、 手を挙げた人が成長できる。

シンガポール事務所
所長 税理士

入江 貴陽 TAKA AKI IRIE



税理士試験講座の法人税法科講師として4年間勤務
した後、山田&パートナーズに転職しました。転職に
あたって重視したポイントは2つ。「業務内容」と「社員の
人間性」です。山田&パートナーズは、「総合型税理士
法人」と銘打っているように広くお客様に貢献しており、
未知の分野にも積極的に挑戦するメンバーが揃って
いると感じて入社を決めました。入社後は、法人顧問
業務などに携わり、現在は希望していたM&A業務を
手掛けています。約半年に及んだ上場会社のM&A案
件では、責任者を任せられプロジェクトを推進しました。

案件完了時には、「迅速に対応してくれる入江さんが
担当で良かった」とお客様から声を掛けてもらえ、大
きな成長を感じられました。山田&パートナーズには、
入社年次や年齢に関係なく、高い志を持って努力する
メンバーには、チャンスを与える風土があります。その
ため、前職での経験に加えて、税務・会計知識の習得・
キャッチアップを中心に、日々の自己研鑽が必要になり
ますが、実務能力養成講座や部門単位での勉強会が開
催されるなど知識を底上げする環境は整っていますし、
努力すればするほど自分に返ってくる職場だと思います。

出る杭を伸ばし、 成長させてくれる事務所。

大阪事務所
パートナー
会計士

小磯 沙織 SAORI KOISO



前職では公認会計士として、外資系企業や海外展開
を積極的に進めている日系企業の監査、内部統制監
査対応やIFRS導入といった案件に関与していました。
地元の大阪に戻ることにになり、監査以外の仕事も
経験してみたい、という思いがきっかけで山田&パート
ナーズに入所しました。入所当時は会計士という資格
を生かし、法人関連の仕事を中心としていましたが、
資産税関連の業務が多い部に配属になったこともあり、
資産税関連業務に携わる機会に恵まれました。
資産税について体系的に学習したこともなかったの

不安もありましたが、自己研鑽や業務経験を重ねる
ことで、次第に自分でも案件を受注できるようになり
ました。そして、自分自身の仕事のカラーを持ちたい、
英語を使える仕事をしてみたいという思いもあり、
国際×資産税という業務に飛び込み、現在も日々
模索しています。山田&パートナーズには会計士などの
前職で培った経験を生かせる環境もありますし、前職で
の経験がなかったとしても、やってみようという思いが
あれば、周りが全力で応援してくれる事務所です。是非
たくさんの方からのチャレンジをお待ちしています！

厚く信頼される存在へと 成長できる環境。

M&Aコーポレートアドバイザー部
マネージャー

山村 雄一 YUICHI YAMAMURA



前職は銀行員として主に法人営業を担当していました。
そこで中堅中小企業を支えることの楽しさを経験しま
したが、提案の先までお手伝いしたい、課題解決を
完遂したい、という思いが強くなり、クライアントが
全幅の信頼を置いていた税理士という職業に興味を
持ち転職を決意しました。山田&パートナーズを選んだ
理由は、取引先が主に中堅中小企業であること、総合
型税理士法人ならではの業務の幅広さです。加えて、
人間力が高く、非常に魅力的な方々が多い印象を抱
いたことも決め手の1つでした。山田&パートナーズに

入社して7年経過しますが、自分の提案が取引先企
業の成長につながる喜びを日々感じています。また、
期待通り多種多様な案件に携わることができており、
自身のキャリア形成にプラスになっていると確信して
います。お客様は経営に多くの課題を抱えています。
1つ解決して終わりではなく、次はこれ、その次はこれ、
とリピートしてご相談をいただけることが多く、業務の
幅広さはお客様からの厚い信頼につながると実感
しています。そんな大きなやりがいを感じながら働け
るのが、山田&パートナーズの魅力だと思います。

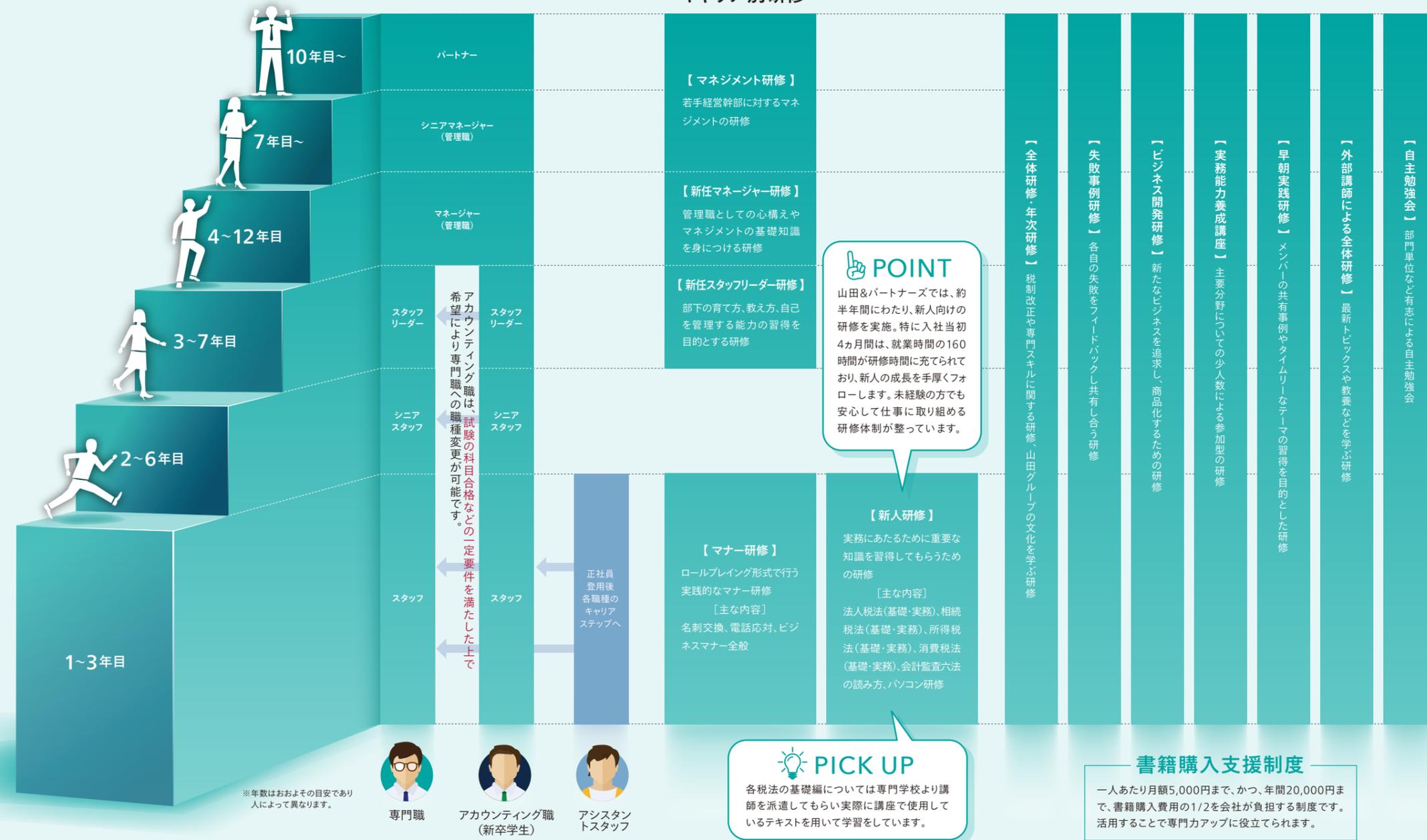
TRAININGS

専門力だけでなく、人間力まで伸ばす研修。

Variety of trainings to cultivate human ability and expertise.

キャリアに応じた様々な研修制度

●キャリア別研修



コミュニケーションを大切にした キャリアアップサポート制度

スタッフ	
業務研修会 (入社1~2年目)	業務上の悩みや失敗談、そのリカバリー方法などを発表し合い、ベテランメンバーを交えてディスカッションすることで課題を顕在化し、解決方法を見出します。
個別面談 (入社2~10年目)	業務の状況や自分の目指すキャリアなどについて、職階に応じて半年または年に1回、パートナーと個別面談を行います。どんなキャリアを歩みたいのかについてパートナーに直接話ができるほか、経験に基づいた真摯なアドバイスが受けられます。
ゼロ・イチ申告実務 (入社3~4年目)	リテール、ホールセール、資本の3業務について、最低限の実務経験を積むことを目的として行う実地実習です。
CDP面談	直属の上司と短長期の目標を共有しキャリアの積み方について相互に確認をします。
マネージャー	
ビジネスレクチャー	案件の主担当となることやビジネスの前面に立つことに対する心構え、行動指針について、統括代表社員がレクチャーを実施。それを踏まえてメンバー同士での意見交換も行います。
自己革新研修	360度評価を用いて、リーダーシップスタイルやマネジメントスタイルを自己分析、グループ討論を繰り返しながら進めます。3泊4日の研修でリーダーシップを発揮するための自己革新を促進します。



仕事と受験勉強の両立を支える 受験生サポート制度

試験休暇	多くの受験生が試験前の約2、3週間程度有給休暇を取得しています。
特別休暇	税理士試験等の資格試験を受験する場合、受験日及び直前3日(土日を除く)の計4日間、特別休暇を取得できます。
勤務時間帯変更制度 (思いやり規程)	受験生や大学院に通うメンバーは、1日2時間以内において、始業時刻の変更が可能です。
週休3日制度	入社後、一定期間に限って週休3日とし、勉強に力を入れる勤務体制を選択することも可能です。
大学院学費貸付制度	税理士試験の科目免除が受けられる大学院へ進学するメンバーに向け、学費の面でもサポートします。
自習スペースの開放	朝・昼・夕に会議室を誰でも利用できる自習室として開放しています。また自習ブースを設置し、会議室と同様に開放しています。

職種紹介



専門職

税理士、公認会計士の資格取得者及び受験生。
資格 ・税理士及び公認会計士の資格取得者
 ・税理士試験科目1科目以上合格者
 ・公認会計士論文式試験合格者
業務範囲 ・経営、各種税務コンサルティング
 ・会計帳簿の作成・税務申告書の作成



アカウントティング職 (新卒学生)

専門職と同様に会計・税務・コンサルティング業務に携わる正社員。
資格 ・資格不問
業務範囲 ・会計帳簿や税務申告書の作成など
 ・各種コンサルティング



アシスタントスタッフ (税理士志望のアルバイト)

週1日以上、1日5時間以上勤務し、専門職とアカウントティング職のフォローを行うスタッフ。
資格 ・税理士試験受験生(科目合格なしでも可)
 ・税理士を目指している方
業務範囲 ・データ入力作業、資料整理、スケジュール管理、
 会計帳簿や税務申告書の作成補助など

何よりありがたかったのが、長期間の試験休暇制度。この制度のおかげで、最後の追い込みができました。

法人・資産税第10部 田中 杏依

週休3日制度を利用して勉強と仕事を両立中です。メリハリをつけることで勉強に集中できています。
 プライベートアドバイザー部 青 優希

経験の幅を広げる多彩なネットワーク。

Networks to gain a wide variety of experiences.

GROUP NETWORK

山田&パートナーズでは、クライアントのあらゆるニーズに柔軟かつ迅速に応えるために、提携コンサルティング会社とともに、部門の垣根を越えた多彩な業務活動を展開しています。

TAX

税務サービス

税理士法人 山田&パートナーズ

〈グループ会社〉

- ▶ 弁護士法人Y&P法律事務所
- ▶ 山田&パートナーズアカウンティング(株)
- ▶ 山田&パートナーズコンサルティング(株)
- ▶ 山田&パートナーズアドバイザー(株)
- ▶ 山田&パートナーズサステナビリティ(株)
- ▶ Y&P社会保険労務士法人

提携

CONSULTING

コンサルティング

山田コンサルティング グループ(株)

官公庁や金融機関に出向して、見聞を広げる機会も。

山田&パートナーズには、ビジネスチャンスを広げるために様々な出向機会があります。そのため、グループ会社への出向にとどまらず、官公庁や金融機関、法律事務所など多岐に及ぶ出向先で見識を広げることが可能です。出向は社内公募となっており、希望するところに手を挙げて、条件やニーズが合えば出向することができます。自分が描くキャリアプランに合わせて、外部でも様々な経験を積めることは、山田&パートナーズで働く魅力の1つです。



COLUMN

INTERNAL NETWORK

山田&パートナーズには定期的な配置転換がない代わりに、複数の異動制度が用意されています。他部門で専門的な知識を学び、それを所属部門に持ち帰って共有するといったノウハウの循環が活発に行われています。

他部門で学ぶチャンスを実現する制度

LEARNING OPPORTUNITIES

1

部門間
交流制度

入社2年目以降に、他部門や他の地方事務所で1年間働くことができる制度。

VOICE

神戸事務所に入社し、様々な業務に携わるなかで、もっと相続税申告の経験を積みたい、東京で大規模な案件に携わりたい、人脈を広げたい、と考え、手を挙げました。入社当時は、地元から出て働くことは考えもしませんでしたが、期間限定で東京で働ける機会に魅力を感じました。東京では希望していた業務にアサインしてもらい、自分の未熟さを感じつつも新たな発見の日々を過ごしています。新しい環境に身を置いて、神戸・東京それぞれの良い点や改善すべき点に改めて気づき、視野が広がりました。部門間交流で築いた東京メンバーとの繋がり、経験を活かして、ワンランク上のサービスを提供していきたいです。

神戸事務所より東京本部へ
マネージャー 山田 知佳
税理士 CHIKA YAMADA



LEARNING OPPORTUNITIES

2

トレーニー
制度

専門部門へ一定期間赴任し、学んだ専門知識を所属部門に還元することを目的とした制度。

VOICE

「専門分野に特化して自身の専門性を高めてみたい」と、入社当初から抱いていた想いを実現するためにこの制度を利用しました。利用前は、新しい環境や未経験の業務に対応できるのかなど不安が尽きませんでしたが、医療事業部のメンバーの献身的なサポートにより、自身の成長を実感できる貴重な時間を過ごすことができました。専門性を高められることはもちろんですが、交流の輪が広がることも大きな魅力だと思います。多彩なノウハウを持ったメンバーから刺激をもらい、大きく成長できました。

大阪事務所より東京本部へ
マネージャー 北岸 大宇
税理士 DAIJU KITAGISHI



LEARNING OPPORTUNITIES

3

海外交流
制度

海外事務所勤務を通じて視野を広げ、国内外のコミュニケーションを深める制度。

VOICE

入社当初は資産税業務に興味がありましたが、働いていく中で国際関連の業務、特に国際資産税という分野への関心が芽生えました。海外で働く経験を積みたいと考えていたため、上司にも背中を押してもらい、入社3年目に海外交流制度を利用しシンガポールで1ヶ月勤務しました。他国の税制への理解や、英語でのコミュニケーションに苦労する場面もありましたが、現地の方が積極的にサポートしてくれました。シンガポール勤務を経て、赴任前までは漠然としていた意欲が具体的なビジョンへと変わりました。他国にも興味湧いており、これからも海外の税制や英語の学習に励んでいきたいです。

東京本部からシンガポール事務所へ
税理士 勝野 春香
HARUKA KATSUNO



【その他異動制度】 希望と志：他部門で専門知識を磨きたいと考える志の高い人材を応援する部門異動制度

日本に20拠点、海外に7拠点。 日本全国、世界にも広がる活躍の場。

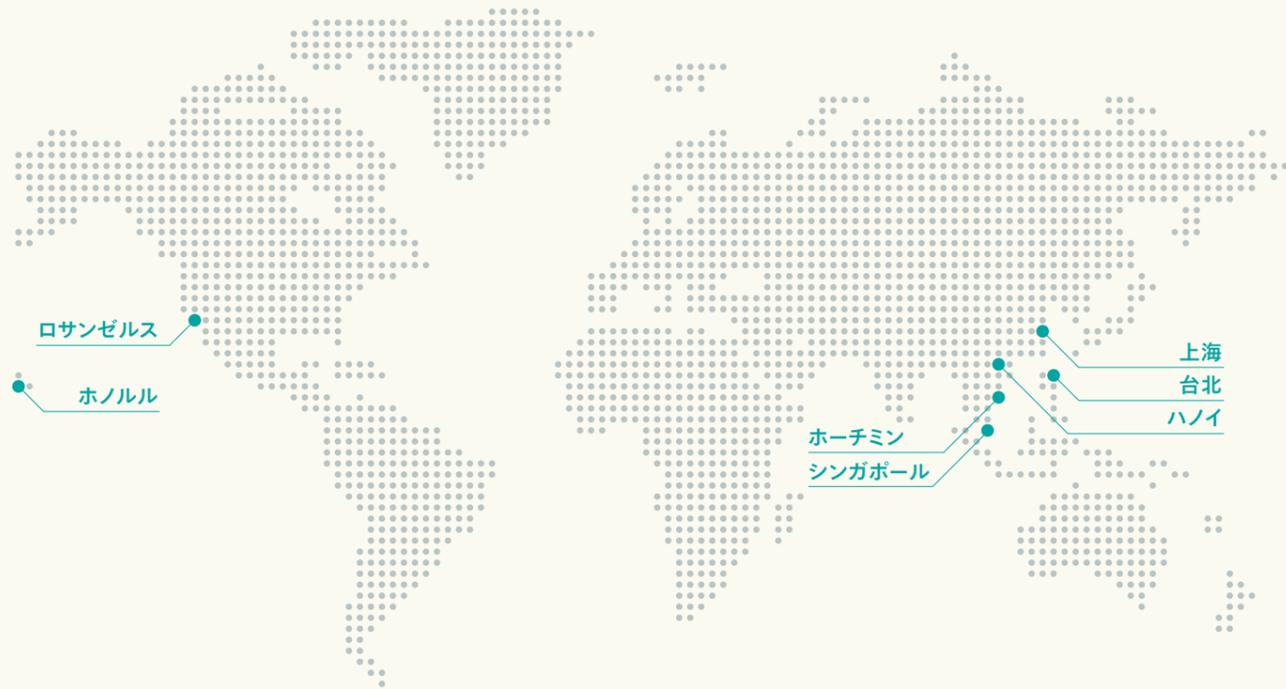
20 bases in Japan and 7 overseas.
Our activities are expanding throughout Japan and around the world.

山田&パートナーズの強みの一つである、国内にとどまらない幅広いネットワーク。国際会計事務所ネットワークであるPrimeGlobalに加盟し、企業や個人の方々に会計、税務、監査、M&A、資産管理などの様々なサービスを提供しています。今後はPrimeGlobalのメンバーファームと連携し、より付加価値の高い専門サービスを提供していきます。

PrimeGlobalは1978年米国デラウェアにて設立。2024年現在、世界113か国に300以上の加盟ファーム、合計拠点数1,211拠点を有し、合計従業員数は45,000名を超える。
<https://www.primeglobal.net/>



OVERSEAS OFFICES



<p>山田&パートナーズ 海外拠点 OVERSEAS OFFICES</p>	<p>● SINGAPORE 1 Scotts Road #21-09 Shaw Centre Singapore 228208</p>	<p>● SHANGHAI 上海市静安区南京西路1515号静安嘉里中心1座12階1206室</p>	<p>● HANOI 26th floor West Tower, Lotte Center Hanoi, 54 Lieu Giai, Cong Vi, Ba Dinh, Hanoi, Vietnam</p>
<p>● HO CHI MINH 19th floor, Sun Wah Tower, 115 Nguyen Hue, Ben Nghe, Quan 1, Ho Chi Minh, Vietnam</p>	<p>● LOS ANGELES 1411 W. 190th Street, Suite 370, Gardena, CA 90248 USA</p>	<p>● HONOLULU 1441 Kapiolani Blvd., Suite 910, Honolulu, HI 96814 USA</p>	<p>● TAIPEI ※アライアンス事務所 105001 台北市松山区復興北路369號6樓之7</p>

DOMESTIC LOCATIONS

- **東京本部**
〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-8-1
丸の内トラストタワーN館8階(受付9階)
- **静岡事務所**
〒420-0853
静岡県静岡市葵区追手町1-6
日本生命静岡ビル5階
- **高松事務所**
〒760-0025
香川県高松市古新町3番地1
東明ビル6階(受付2階)
- **札幌事務所**
〒060-0001
北海道札幌市中央区北一条西4-2-2
札幌ノースプラザ8階
- **名古屋事務所**
〒450-6641
愛知県名古屋市中村区名駅1-1-3
JRゲートタワー41階
- **松山事務所**
〒790-0003
愛媛県松山市三番町4-9-6
NBF松山日銀前ビル8階
- **盛岡事務所**
〒020-0045
岩手県盛岡市盛岡駅西通2-9-1
マリオス19階
- **京都事務所**
〒600-8009
京都府京都市下京区四条通
室町東入函谷鉦町101番地
アーバンネット四条烏丸ビル5階
- **福岡事務所**
〒812-0011
福岡県福岡市博多区博多駅前1-13-1
九勲承天寺通りビル5F
- **仙台事務所**
〒980-0021
宮城県仙台市青葉区中央1-2-3
仙台マークワン11階
- **大阪事務所**
〒541-0044
大阪府大阪市中央区伏見町4-1-1
明治安田生命大阪御堂筋ビル
(L.A.タワー)12階
- **南九州事務所(熊本)**
〒860-0047
熊本県熊本市西区春日3-15-60
JR熊本白川ビル5階
- **北関東事務所(大宮)**
〒330-0854
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5
ソニックシティビル 15階
- **神戸事務所**
〒650-0001
兵庫県神戸市中央区加納町4-2-1
神戸三宮阪急ビル14階
- **横浜事務所**
〒220-0011
神奈川県横浜市西区高島1-1-2
横浜三井ビルディング20階
- **広島事務所**
〒732-0057
広島県広島市東区二葉の里3-5-7
GRANODE(グラノード)広島6階
- **新潟事務所**
〒951-8068
新潟県新潟市中央区上大川前通
七番町1230-7
ストークビル鏡橋10階
- **金沢事務所**
〒920-0856
石川県金沢市昭和町16-1
ヴィサージュ9階
- **長野事務所**
〒380-0823
長野県長野市南千歳1-12-7
新正和ビル3階

Instagramをチェックすれば、
働く前から事務所の
雰囲気がわかるかも!?

国内拠点について、
詳しくはこちらをご覧ください。



<https://recruit.yamada-partners.jp/about/offices/>

地方と東京、距離は遠くてもつながっている。

Tight community of headquarter and local branches beyond distance.

全国に20の拠点を有する山田&パートナーズ。各拠点同士が交流を深める社内イベントや、東京で専門的な知識を身につけられる制度などもあり、地方で勤務していても東京本部と連携を取りやすい環境が整っています。テレビ会議などビジネスインフラも発展しているため、東京だけがキャリア形成の場所ではなくなりつつあります。



LOCAL BRANCH

各事務所がつながり、高め合っている。

大阪事務所
マネージャー 北岸 悠香
税理士 YUKA KITAGISHI

今は入社9年目。大阪事務所経験者です。大阪は60人規模の事務所、地方事務所の中では大所帯ですが、東京と比べると小規模。その分、任せてもらえる仕事の幅が広いと感じています。若手のうちから裁量権を持っているのが、地方で働く魅力ではないでしょうか。大阪事務所働いていますが、神戸や京都の事務所と連携して仕事を進める機会もあります。歓迎会やスポーツイベントなども、関西・中四国本部として合同で行っていますね。本部内では、各メンバーの近況や趣味を紹介する「関西・中四国本部だより」という広報誌を発行して、顔を合わせたときに話しやすいように工夫しています。もちろん、交流は本部内で完結していません。グループ旅行や忘年会では、全国のメンバーが一堂に会するので、東京本部のメンバーとも親睦が深められますし、そこでつながったメンバーとは、その後も業務の相談や情報共有を気軽に行っています。私はまだ利用していませんが、部門間交流制度やトレーニー制度といった東京でスキルを磨く制度もあるので、地方は地方、東京は東京、と独立した感じではなく、東京を含めて各事務所の距離が近いと感じています。



オンとオフを切り替えて、人間関係を深める時間。

Activities to build relationships and enjoy your private time.

グループの垣根を越えた多様な交流

01

CLUB & ACTIVITIES / グループ旅行

総勢1,800人を超えるメンバーとの旅行。

グループ会社や地方事務所の方との懇親を目的に行われているのがグループ旅行です。チームに分かれて観光をしたり、様々なレクリエーションを取り入れた宴会を行ったりします。山田グループのメンバーはオン・オフの切り替えが上手な人が多いため、毎回笑いが絶えません(笑)。

コンサルティング事業部 船越 雄斗

大学卒業後、2024年4月にアカウントティング職として入社。税理士試験合格を目指し、仕事と勉強を両立中。法人顧問、相続税申告などの業務を担当している。



CLUB & ACTIVITIES / 茶道部

02

お茶を通して日本文化と親しむ部活。

毎月1~3回程度、終業後に茶道教室へ行き、先生からお作法や道具の扱い方などを学んでいます。基礎から丁寧に教えてもらえるので、初心者でも安心です。季節に合わせたお菓子とお茶をいただきながら、日常では味わう機会が少ない日本の伝統文化が持つ美しさに触れています。

国際部 マネージャー 土肥 琴美

2015年入社。主に外資系の法人顧問の業務を手掛けながら、国際税務の論点がある案件を担当している。

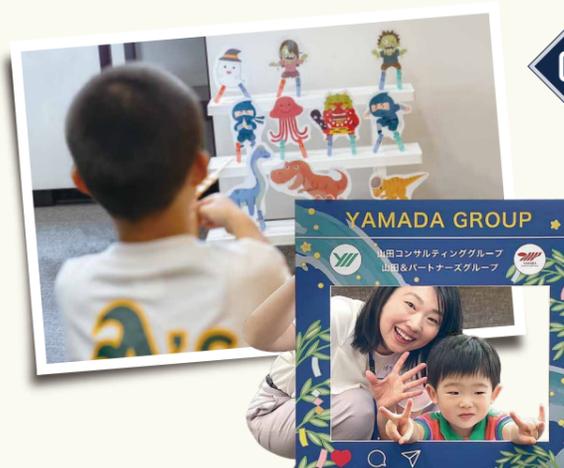


03

CLUB & ACTIVITIES / 家族招待会

大切な家族に感謝の気持ちを伝えるイベント。

日頃からメンバーを支えてくださっているご家族に感謝を込め、グループ会社合同で『家族招待会』を開催しています。子ども・両親・兄弟姉妹など多くのご家族を事務所ごとに招待し、一緒に働く仲間やオフィスをご紹介します。ご家族に喜んでいただける企画も行い、普段はクールな上司もこの日は優しいパパやママの顔に。普段とは違う一面を見せ合い、社員同士のコミュニケーションも深めています。



働きやすく、スキルアップできる環境。

An environment that is comfortable to work and good to improve your skills.

山田&パートナーズでは、メンバーが業務に励みやすく、スキルアップできる環境を整えるために様々な制度を用意しています。働きやすい環境を構築することで、メンバー一人ひとりの活躍やキャリア形成を支えています。



・時差出勤

始業時刻を2時間の範囲で繰り上げ、または1時間の範囲で繰り下げることができます。ワークライフバランスが向上し、仕事の効率化につながられます。



・リモートワーク

多様な働き方に対応するため、在宅勤務、事務所勤務を併用。メンバーが働き方を選べる体制が整っています。



・カフェテリアプラン

「家賃補助」「家事代行」「健康診断オプション費用」「専門学校学費」など豊富なメニューから、付与ポイントの範囲内で福利厚生を自ら選べる制度です。



・会計税務書籍サブスクリプション導入

会計税務の書籍・雑誌のオンライン読み放題サービスに加入。場所を問わず、共通の知識を得ることができます。



・各種協会の費用負担

税理士会・会計士協会の会費や登録費、その他各種費用を法人が負担しています。



・自己研修の費用補助

専門的知識や技能向上を目的として、研究会やセミナーに参加する費用を負担しています。知識・教養の幅を広げ、個の成長を後押ししています。



・懇親会会費補助

メンバー間の親睦を深めるため、歓迎会・忘年会・新年会の会費補助制度があります。少し贅沢な食事を楽しみながら、交流を図っています。



・部活動

日本全国で30以上の部活があり、グループ会社メンバーも含め合同で活動。部活動を通して交流が生まれ、部署の垣根を超えたつながりをつくっています。



・社内報「Cheer up!」

季節ごとに発刊し、旬な話題・メンバーインタビュー・各事務所紹介などを掲載。メンバー同士のコミュニケーションに役立てています。

BUSINESS IMPROVEMENT

付加価値を高めるために、テクノロジーを活用。

Utilize technology to enhance the added value.

業務を効率的に進めて生産性を向上させるために、RPAをはじめとしたテクノロジーを積極的に採用。コミュニケーションの簡略化や作業スピードの向上などを実現し、より付加価値の高いサービスの提供を目指しています。

RPA [Robotic Process Automation]

単純で反復性の高い業務を自動化するRPAを導入。生産性の向上につながる仕組みづくりに積極的に取り組んでいます。



生成AI [ChatGPT]

生産性を高める手段の一つとしてChatGPTを活用。進化する技術を取り入れ、業務の効率化を実現しています。



ウルトラワイドモニター

業務の利便性を高めるウルトラワイドモニター。複数のウィンドウ表示によるマルチタスクなど、作業効率を高めています。



MESSAGE FROM FIRM

山田&パートナーズからのメッセージ

「楽しい人」「高い理想の人」 「自分を大切にしている人」待っています。

「楽しい人」にピッタリ。皆さんの少し先輩は、何にでも挑戦したがる好奇心と

向上心旺盛な良く学び良く仕事する頼りになる先輩です。

仕事を片付けると「以上。(マル)」と心のスイッチを見事にオフ(off)に切り替えて

人生を楽しむ明るく愉快的な仲間です。

「高い理想」を持った、普通より少なくとも少しは上のビジネス人生を歩きたいと

志向し自己実現を目指す先輩の多い事務所です。

彼等も彼女達も頼りになる先輩です。「個と組織の成長」を目指す集団です。

成長する組織に属する個は成長スピードが早い、これは真理です。

個の成長を大切に、組織自体もまだまだ成長を続けますから、

成長したい貴方にフィットする事務所です。「元気な若者の集う組織」です。

税理士法人 山田&パートナーズからスピンアウトした山田コンサルティンググループ(株)とは、

それぞれ独立した存在ながらも提携グループを形成しています。

沢山のチャンスと情報の集まる若者中心の組織ですから元気な貴方に向いています。

自分を大切にしている人、自分を伸ばしたいと思う人、待っています。



GUIDELINE

募集要項

- ◎待遇 昇給 年1回(1月)、賞与 年2回(年収に含む)、業績賞与(12月)
- ◎諸手当 時間外手当(固定残業代なし)、通勤手当(全額支給/非課税限度枠内)、出張手当、税理士会・会計士協会会費、登録費他各種費用法人負担
- ◎勤務時間 9:00～18:00(休憩60分)
- ◎休日・休暇 週休2日制(土、日、祝)※繁忙期(2.3月)を中心に年2～3回程度土曜出勤あり
週休3日制※税理士受験生のみ(入社後一定期間選択可能)
夏季休暇、年末年始休暇、年次有給休暇、産前産後休暇、育児介護休暇、子の看護休暇、特別休暇(慶弔・試験休暇、出産特別休暇)※当法人規定に準ずる
- ◎保険制度他 健康保険、厚生年金、確定給付企業年金、雇用保険、労災保険、退職金共済、企業型確定拠出年金、在宅勤務制度、時差出勤制度、海外研修制度、大学院学費貸付制度、アルムナイ制度
- ◎福利厚生 保養所、会員制リゾートホテル、書籍購入費補助、公認部活動、カフェテリアプラン

PROFILE

法人概要

- ◎法人名 税理士法人 山田&パートナーズ
- ◎代表者 統括代表社員 三宅茂久
- ◎住所 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-1丸の内トラストタワーN館8階(受付9階)
- ◎電話番号 03(6212)1660
- ◎FAX 03(6212)1661
- ◎設立 1981年4月1日
- ◎人員数 995名(うちパートナー56名、マネージャー207名)2025年1月時点
- ◎事業実績 (2023年10月～2024年9月)
法人顧問:2,649件(うち医療機関:217件)
相続税申告:2,272件
確定申告(所得税・贈与税):3,494件
相続・事業承継コンサルティング:1,453件
組織再編コンサルティング:285件
M&A関連業務:187件
国際関連業務:419件

なりたい自分、叶えたい夢。
希望に満ちた未来に向かって、
確実に成長できる環境が
山田&パートナーズにはある。
志高く、全速力で駆けのぼれ。

理想まで、最速で。

<https://recruit.yamada-partners.jp>

 yamadaandpartners

Yamada & Partners
Recruiting 2025





税理士法人 山田&パートナーズ